

2020年8月12日(水)

流れ星観察会

毎年8月12日の夜は、ペルセウス座流星群の活動が一番活発になる日です。今年はずいぶん月明かりがない条件のため、たくさんの流れ星に期待が高まりました。新型コロナウイルス感染予防のため、いつもとは少し観察の方法を変えましたが、流れ星はいつもと変わらず見られたのでしょうか？



19:00の開始時点では、参加者は40名ほど。新型コロナウイルス感染予防のため、各家族が距離を取って集まりました。



宇部天文同好会会長の久幸さんの挨拶です。この行事は宇部天文同好会の主催のため、これ以降、星の説明は宇部天文同好会が中心になります。



暗くなるまで時間があるので、10分ほどヨシ原にねぐら入りするツバメを見に行きました。約1000羽のねぐら入りです。



ツバメのねぐら入りが終わる頃には星が見え始め、望遠鏡での観察タイムがスタート。こちらの望遠鏡では木星を見ます。



もう1台の望遠鏡は土星です。ただ雲が多く、木星も土星も安定して見ることはできません。



久幸さんの話も始まりましたが、この頃から雲が厚くなり、ついに雨が降り出して一時避難。



雨はすぐに止んで仕切り直し。以降は木星と土星はよく見えました。



今年は大ブルーシートは使用せず、各家族ごとにシートに寝転がって流れ星を探しました。



雲が多くて、行事の時間中にすっきり晴れることはほとんどありませんでした。条件が良かっただけに残念です。それでも雲の切れ間に注目していると、何回か流れ星が流れる様子が見られました。

雲が多めの天気でしたが、目的のペルセウス座流星群の流れ星はいくつか見ることができました。来年はたくさん見られるといいですね。